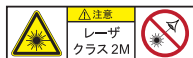




ALC-44G

フルライングリーンレーザー墨出器



JSIMA
Japan Surveying Instruments Manufacturers' Association
"このマークは日本測量機器工業会の
シンボルマークです"

エス・ティ・エス株式会社

〒468-0003 名古屋市天白区鴻の巣1丁目1603番地

TEL : 052-847-8880 FAX : 052-847-8883 E-mail : sts-s@sts-s.co.jp

< 商品に関するお問合せは > STS サービスセンター

フリーダイヤル



0120-808-095



取扱説明書

この度は、フルライングリーンレーザー墨出器 ALC-44G をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、フルライングリーンレーザー墨出器 ALC-44G の概要、操作方法について説明しています。安全かつ効率よくお使い頂く為に本書をよくお読み頂き、正しくお使い下さるようお願い致します。

- この取扱説明書は必ずお読みになり常時、機械と同じ場所に保管して下さい。
- 製品の仕様及び外観を改善のため予告なく変更することがあります。
- 掲載の図は、説明をわかりやすくするために、実際とは多少異なる場合があります。あらかじめ御了承下さい。

1. ご使用上の注意

	このマークは製品の取り扱いを誤った場合に使用者が障害を負う危険および物的障害の発生が想定される事を示します。
	このマークは安全上してはいけない「禁止」内容を示します。

フルライングリーンレーザー墨出器本体の防塵防水性能は
IP54 相当です。

使用にあたっては『ご使用上の注意』の項目内容にご注意下さい。

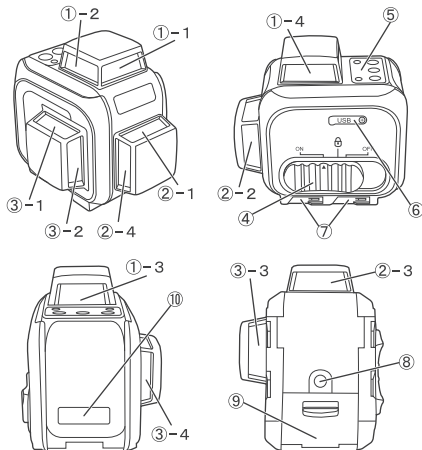
IP54 とは
防水性能・・・『いかなる方向からの水の飛沫を受けても有害な影響がない』
という規格です(防沫形)

防塵性能・・・『器具の所定の動作及び安全性を阻害する量のじんあいの侵入から保護されている』という規格です(防塵形)

-  **ご注意** : 本機は水しぶきから保護する構造ではありませんがホース等の直接噴流や水中での使用は出来ませんのでご注意ください。また水滴が付いた場合は速やかに乾いたやわらかい布で水滴を拭き取って下さい。
- : 本機を水中に入れないで下さい。本機は水中やホース等による直接噴流からは保護されません。お手入れの際、水洗いは絶対にしないで下さい。
- : 本機は水しぶきからは保護されますが雨天時の使用、特にレーザー照射ガラスに水滴が付くとその水滴がレンズ効果を起こし正しくレーザーを照射できません。必ず水滴を拭き取ってからご使用下さい。
- : 本機に水滴が付くと水の浸入は防ぎますが急激な温度変化により機械内部が結露する場合があります。結露した場合は結露が解消されるまで使用を中止して下さい。
- : USB 接続時は本機の防塵防水性能は保障されませんのでホコリや水には注意して下さい。
- : 電池蓋と USB 差込口ゴムキャップはしっかりと締めて下さい。これらを締めた状態でのみ、保証する防塵防水性能を発揮します。
- : 電池蓋内部、接点及びコネクタに塵や水分がつかないように十分に注意して下さい。これらの部分から機械内部に塵や水分が浸入すると、故障の原因となります。
- : 格納する時は、本体とケースが乾いていることを確認して下さい。内部に水滴がついていると、本体の故障及びサビの原因となります。
- : 本機を持ち運ぶ時やご使用後には、必ず電源を OFF にして下さい。
- : 長期間ご使用にならない場合は、電池を取り外して下さい。

-  **ご注意** : 精度が狂ったり、不具合が発生した場合はご使用を中止し、ご購入先を通じて弊社へ修理、点検をご依頼下さい。
- : 保管の際は必ずケースに入れ振動の加わる場所、高温、湿気やホコリの多い場所での保管は避けて下さい。
- : 本機を長時間、直射日光が当たる場所に放置しないで下さい。性能に影響する場合があります。
- : 作業を始める前にレーザー照射口にゴミやホコリがついていないか確認して下さい。
-  **危険** : ルーペ、拡大鏡、顕微鏡及び望遠鏡、双眼鏡などの光学器具を用いてレーザー出力を観察すると、目に危険を及ぼす場合があります。
- : レーザー照射口、レーザービームは絶対にのぞかないで下さい。また人に向けてレーザーを照射しないで下さい。
- : 分解、改造、修理をしないで下さい。レーザー被ばくによる視力障害の原因となります。修理が必要と思われる時は、販売店もしくは専門の修理工場にご相談下さい。
- : この製品は測量のみに使用して下さい。他の目的に使用すると予見できない危険を誘発する恐れがあります。
- : レーザー光が強く反射する構造物(鏡、窓ガラス等)にあたらないように本機を設置して下さい。レーザーの反射光も視力障害の原因となります。
- : 本機を設置する時、作業者はもちろん周囲の人の眼の高さに設置しないで下さい。
- : 幼児や子供の手の届く場所に本機を保管しないで下さい。
- : 万が一、レーザー光による障害が疑われる時は、速やかに医師による診察または処置を受けて下さい。
- : 直射日光の当たる場所や、高温となる場所など 45℃を超える環境では、レーザーの消費電力が過大となり性能や寿命を劣化させ、故障の原因となりますので使用しないで下さい。
- : 本機は精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないで下さい。また、ご使用後は必ずケースに入れ、保管して下さい。
- : 本機は精密機器の為、お客様の方での分解・改造を行わないで下さい。性能や寿命を劣化させる原因にもなり保証できなくなります。
- : 電池や本体を火中に投入しないで下さい。電池が破裂し、けがや火傷を起こす恐れがあります。
- : 作業は施工者の技術責任で行われるものであり工事不良に関わる一切の責務には応じられません。

2. 各部の名称



- ①-1 水平レーザー①照射口
- ①-2 水平レーザー②照射口
- ①-3 水平レーザー③照射口
- ①-4 水平レーザー④照射口
- ②-1 垂直レーザーV1①照射口
- ②-2 垂直レーザーV1②照射口
- ②-3 垂直レーザーV1③照射口
- ②-4 垂直レーザーV1④照射口
- ③-1 垂直レーザーV2①照射口
- ③-2 垂直レーザーV2②照射口
- ③-3 垂直レーザーV2③照射口
- ③-4 垂直レーザーV2④照射口
- ④ 電源スイッチ
(自動補正OFFモード切替)
- ⑤ 操作パネル
- ⑥ USBジャック差込口
- ⑦ スライドロック
- ⑧ 三脚取付ネジ(カメラ用)
- ⑨ 電池蓋
- ⑩ 説明ラベル添付位置

3. 仕様

光 源	515nm±2% 緑色半導体レーザー
光 出 力	1.5mW 以下 クラス2M (JIS C6802:2018)
パルス幅/周波数	50μs/10kHz±10%
モ ー ド 切 替	2モード 受光器(通常)、高輝度
線 幅	1.5mm/5m
精 度	水平・垂直±1.5mm/7.5m 鉛直±1mm/3m
自 動 補 正 範 囲	±3°
傾 斜 警 告	有 補正範囲外時全レーザー消灯及びブザー音
自動補正OFF機能	有
制 動 方 式	磁気制動方式
本 体 回 転 機 構	360° (付属のシフティング台座使用)
回 転 微 動 装 置	有 約6° (付属のシフティング台座使用)
電 池 残 量 警 告	有 電源ランプ点滅及びブザー音
電 源	充電式Li-ion 電池パック(充電時間:約4時間) AC100V(付属のACアダプター使用) USB バッテリー (付属のUSBケーブル使用)
連 続 使 用 時 間	受光器(通常)モード全照射:約10時間 (充電式Li-ion 電池 パック使用時) 高輝度モード全照射:約6時間
使 用 温 度 範 囲	-10℃~+45℃
防 塵・防 水	有 IP54 相当
三 脚 取 付 部	カメラ用1/4inch
受 光 器 対 応	対応 付属のSS-30G 使用
屋 外 最 大 測 距 離	約30m (付属のSS-30G 使用時、但し 使用環境により異なる)
本 体 寸 法	105×80×94mm
本 体 重 量	500g(電池含む)

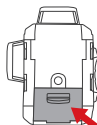
※連続使用時間は使用環境により異なります。

4. ご使用方法

注意:ここに規定した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

●電池の装着

電源がOFFになっていることを確認して電池蓋を開け、付属の専用充電式Li-ion電池パックを表示されている矢印方向に電池接点を本体側に向けて挿入し、電池蓋を閉めます。この時、防塵防水性を維持する為にカチッと音が出るまで電池蓋を閉めて下さい。



・充電方法

専用充電式Li-ion電池パックの充電は、下図のように充電式Li-ion電池パックの接続ジャックに付属のUSBケーブルを直接差し込んでUSB-ACアダプターを使用して充電して下さい。
(本体側面にあるUSBジャック差込口からは充電できません。)
充電時間は約4時間です。

充電LEDランプ ※満充電時は4つ点灯します。

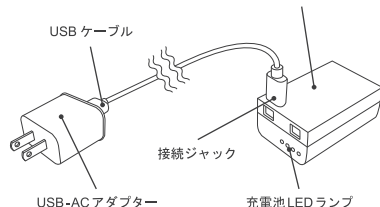


充電中(点滅:白)



充電完了(点灯:白)

専用充電式Li-ion電池パック



警告:充電が完了したら速やかにUSB-ACアダプターを外して充電作業を終了して下さい。

注意:充電式電池は工場出荷時、十分に充電されていませんのでご注意下さい。

充電しながら本機を使用する事はできません。

充電式電池を使い切った後は、ある程度の充電を行ってから保管して下さい。

直射日光の強い所や、炎天下の車内等の高温の場所での使用・放置はしないで下さい。

注意:本体側面にあるUSBジャック差込口からは充電できませんのでご注意下さい。



注意:高温での保管を避け、適温範囲内で保管して下さい。

:専用充電式電池はリチウムイオン電池です。



Li-ion

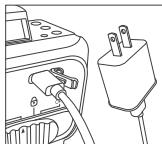
使用済みの電池は貴重な資源です。再利用しますので、廃棄しないで電池回収協力店へご持参下さい。

ポイント:電池残量がない状態で保管すると、過放電状態になり、充電ができなくなってしまいます。また、満充電に近い状態で保管を繰り返すと、電池の寿命を縮める原因となります。長時間保管する場合は、50%前後の状態にし、適温範囲内で保管して下さい。但し、過放電を防止するために、半年に1回程度の充電(50%程度)を行って下さい。

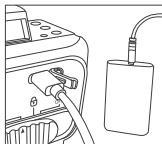
USB-ACアダプター及びUSBケーブル

付属のUSB-ACアダプターとUSBケーブルを使用して、AC100V対応可能です。
本体側面のUSBジャック差込口にUSBケーブルを差し込んでUSB-ACアダプターを取り付けてご使用下さい。
また、付属のUSBケーブルを使用して、市販のUSBバッテリーの使用も可能です。(1.5A以上5V)

この時、専用充電式Li-ion電池パックが装着されている場合でも専用充電式Li-ion電池パックは充電されませんのでご注意ください。



USB-ACアダプターと
USBケーブル



USBバッテリー
(市販品)

注意: 本体側面のUSBジャック差込口にUSBケーブルを差し込むと、挿した電源(USB-ACアダプター又はUSBバッテリー)が使用されます。
本体に装着した電源(専用充電式Li-ion電池パック)は使用されません。

注意: 弊社が指定するUSB-ACアダプター及びUSBケーブル以外は絶対に使用しないで下さい。
: USBケーブル接続時は本機の防塵防水性能は保障されませんのでホコリや水には注意して下さい。
: USBケーブルを使用しない場合は必ずゴムキャップをUSBジャック差込口にはめ込んで下さい。
ゴムキャップをはめ込んだ状態でのみ本機の防塵防水性能(IP54相当)は保障されます。

電池残量警告

電池の残量が少なくなると電源ランプ点滅及びブザー音でお知らせします。電池を充電して下さい。

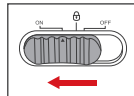
電池残量不足によるレーザー光の明るさのバラつきを防ぐ為に、補正範囲外からの復帰時や、レーザーの照射ラインを増やす為に照射ボタンを押した時等、電池消費量が急激に上昇した際、電池残量が少ない場合には全てのレーザーラインを消灯させ、電源ON時の状態に戻します。
この場合レーザーの照射本数を減らせば、まだ作業は可能ですが、早めの充電をお奨めします。

●作動方法

本機は傾きが $\pm 3^\circ$ まで自動的に補正できるよう設計されております。傾きが 3° を超えた場合、電源が入っていれば、ブザー音でお知らせします。

- ① 本機が $\pm 3^\circ$ 以上傾いているとブザー音が鳴りますので本機をある程度水平にして下さい。
- ② 電源スイッチをON側にスライドさせ電源を入れます。
(電源スイッチは最後まで確実にスライドして下さい。)

※電源スイッチを真ん中の $\oplus$ にスライドさせ電源を入れたら、自動補正OFFモードになります。



- ③ 水平レーザー(受光器モード)が照射されます。
操作パネルより必要なレーザーを照射させて下さい。
- ※電源をONにした時(自動補正OFFモード含む)
受光器モードの水平レーザー(全周)が照射されます。

5. レーザー投影と受光器(通常)モード・高輝度モード

※照射ガラスにレーザーが反射して本来のレーザー光以外に違うレーザー光(ゴーストレーザー)が照射される時がありますが、異常ではありません。



●自動補正OFFモードについて

通常、本機が $\pm 3^\circ$ 以上傾くと、傾斜警告が働きブザー音が鳴り自動補正範囲外であることをお知らせしますが、自動補正OFFモードでは、本機を $\pm 3^\circ$ 以上傾けてもブザー音とレーザーラインを消灯させず、斜めにレーザーラインを照射させることが出来ます。

斜めにレーザーラインを照射させたい時は付属の傾斜脚頭 (STH70C) をご使用下さい。

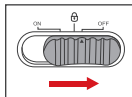


※自動補正OFFモードで水平・垂直出しの作業は絶対にしないで下さい。

※ご使用時は転倒にご注意下さい。

●停止方法

電源スイッチをOFF側にスライドさせると、自動補正装置(ジンバル)がロックされ電源OFFとなります。ジンバル保護の為、本機の移動時やご使用後は電源スイッチをOFFにしてジンバルをロックして下さい。



※電源スイッチは最後まで確実にスライドして下さい。



本機は下記のボタンでレーザー照射、モード切替ができます。
(水平レーザーH・垂直レーザーV 1、V 2)



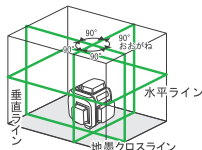
ボタンを押すごとに「水平レーザーH(全周)」のON/OFFができます。



ボタンを押すごとに「垂直レーザーV 1(全周)」・「垂直レーザーV 2(全周)」・「垂直レーザーV 1、V 2(全周)」・「OFF」に切替ができます。

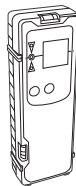


ボタンを押すごとに「受光器(通常)モード」・「高輝度モード」に切替ができます。



ALC-44Gは左図のように照射します。

専用受光器
SS-30G



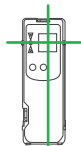
●受光器(通常)モードについて

ALC-44Gは受光器対応です。付属の専用受光器SS-30Gを使用すればレーザーラインが見えない明るい場所でも最大約30m、レーザー位置を検出可能です。

受光器は弊社の受光器SS-30Gのみご使用下さい。
受光器のご使用方法は受光器SS-30Gの取扱説明書をご覧ください。

注意: 受光器をご使用の場合、右図のようにレーザーの交差する部分で受光させると誤作動の原因となります。
受光器をご使用の場合、交差している部分は避けてご使用下さい。

⚠ 高輝度モード時は、受光器は使用できません。



●高輝度モードについて

作業現場が明るい等、レーザーが見えづらい場合にご使用下さい。

高輝度モードを使用する場合、レーザーを照射している状態で操作パネルの『高輝度ボタン』を押して下さい。
『高輝度モードランプ』が点灯し高輝度モードがONとなります。



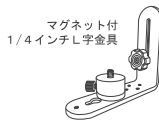
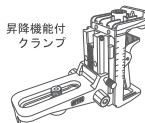
注意: 高輝度モード時は、受光器は使用できません。

⚠ 周辺が暗い等、現場環境によって高輝度モードではラインが太く見えることがあります。
この場合は受光器(通常)モードでご使用下さい。

6. 三脚や壁面等への取付

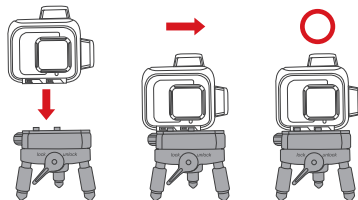
5/8インチレーザー墨出器用エレベーター三脚や壁面、鋼材(H鋼)、軽量鉄骨等にご使用する場合は、付属のマグネット付1/4インチL字金具または昇降機能付クランプを使用して取り付けして下さい。

注意: 取り付けの場合はあまりきつく取付け部を締め付けないで下さい。故障の原因になります。



7. シフティング台座への取付

付属の専用シフティング台座をご使用する場合は、シフティング台座の4ヶ所のツメに合わせて本機を接続させ、下図のように本機のみを矢印方向にスライドロックして固定します。



注意: 取付時は必ずレバーをロックして固定して下さい。

⚠ 持ち運びの際も、スライドロックを確実に固定して下さい。
不確実だと本機から専用シフティング台座が落下し破損、けがをされる恐れがあります。
⚠ ご使用時は転倒にご注意下さい。

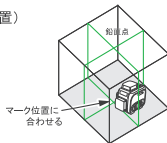
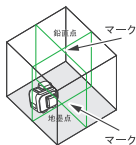
8. 精度の点検

本製品は精密機械ですので、常に調整され適切な状態で維持されなくてはなりません。機器による測定結果は使用者の責任です。ご使用前に必ず次の手順で精度の点検をして下さい。

注意:ここに規定した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

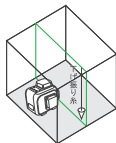
●上下鉛直点の点検

1. 天井が3m程度の高さで、振動が無くできるだけ平らな場所を選びます。
2. 電源スイッチをONにします。操作パネルの垂直レーザーV照射ボタンを押し、全ての垂直レーザーを照射します。レーザー光の揺れが停止後地墨点（下部垂直ラインがクロスした位置）と鉛直点（上部垂直レーザーラインがクロスした位置）をマークします。
3. 本体を180°回して地墨点（下部垂直ラインがクロスした位置）をマーク位置に合わせます。
4. 鉛直点を見て2.でマークした位置とのズレが無いかを確認し、ズレが±1mm以内であれば許容範囲です。
5. ズレが許容範囲を超えている場合は、調整・修理が必要です。販売店を通じて弊社へご相談下さい。



●垂直ラインの点検

1. 天井が3m程度の高さで、振動が無くできるだけ平らな場所を選びます。
2. お手持ちの下げ振りを天井にセットし、下げ振りから5m離れた場所から操作パネルの垂直レーザーV照射ボタンを押し、全ての垂直レーザーを照射します。レーザー光の揺れが停止後、4方向の垂直レーザー光をそれぞれ下げ振りの糸に合わせます。
3. 下げ振り糸とレーザーラインのズレが許容範囲内であればそのままご使用下さい。許容範囲を超えている場合は、調整・修理が必要です。販売店を通じて弊社へご相談下さい。（糸の中心から±1mm以内が許容範囲です。）



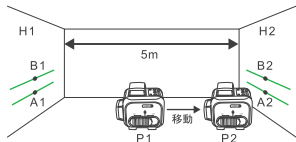
●水平ラインの点検

1. 本機を壁面から5m先の水平な安定した床や三脚の上に設置し、壁面に水平レーザー照射口を向けレーザーを照射し、水平ライン上のほぼ中央をマークしO点とします。
2. 本機を360°回転させながら同じ壁面上に照射された水平ラインを確認し、最も高い位置と最も低い位置をO点と同じ垂直線上にマークします。（A点、B点）
3. A点とB点の長さを測ります。その長さが2mm以内であれば点検方法4へ進みます。

2mmを超えている場合は、調整・修理が必要です。販売店を通じて弊社へご相談下さい。



- 次に、下図の様に向き合う壁面の距離が5mある中央P1に本機を水平な安定した床や三脚の上に設置し、壁面H1に水平レーザーH①照射口を向けレーザーを照射します。水平ライン上のほぼ中央をマークしA1とします。
- 次に、本機をP1の位置で180°回転させA1とP1との直線上にある壁面H2に水平レーザーを照射させ、ほぼ中央をマークしA2とします。
- 本機をA1、A2を結ぶ直線上で出来るだけ壁面H2に近い場所P2に移動します。
- 先ほどのマーク同様A1とA2との同一直線上に水平ライン中央を照射しそれぞれB1、B2とします。
- A1とB1の長さを測りL1、同様にA2とB2の長さをL2とします。この時、B1(B2)の位置がA1(A2)より上にある場合は+、下にある場合は-の符号を測った長さL1(L2)につけて下さい。(L1)-(L2)を求めます。
求めた長さが±1mm以内であれば許容範囲内です。
- 水平レーザーH②、H③、H④も同様に点検を行います。
- 許容範囲を超えている場合は、調整・修理が必要ですので販売店を通じて弊社へご依頼下さい。

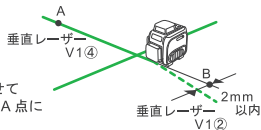


●両縦通り芯の点検

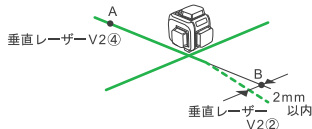
- 振動の無い、出来るだけ平らな床に11m程の長さの水糸をピンと張ります。その中央の位置をO点とし、O点から両側5mのポイントをマークしてA点・B点とします。



- 垂直レーザーV1と水糸が同方向になるように本機を設置して、操作パネルの垂直レーザーV照射ボタンを押し、全ての垂直レーザーを照射します。
地墨クロスラインを水糸上のO点に合わせて下さい。
さらにO点から片側5mのA点に垂直レーザーV1④を合わせます。
- この時、水糸上B点と垂直レーザーV1②のズレを見ます。
B点とのズレが2mm以内であれば正常です。



- さらに本体を回転させて垂直レーザーV2④をA点に合わせます。
- この時、水糸上B点と垂直レーザーV2②のズレを見ます。
B点とのズレが2mm以内であれば正常です。



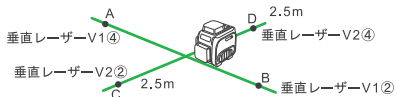
- ズレが許容範囲を超えている場合は、調整・修理が必要ですので販売店を通じて弊社へご依頼下さい。

●おおがね(90°)の点検

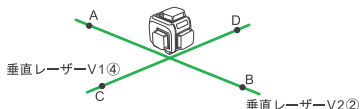
- 振動の無い、出来るだけ平らな床に6m程の長さの水糸をピンと張ります。
その中央の位置をO点とし、操作パネルの垂直レーザーV照射ボタンを押し、全ての垂直レーザーを照射します。
地墨クロスラインを水糸上のO点に合わせます。
さらにO点から両側2.5mのポイントをマークしてA点・B点とします。



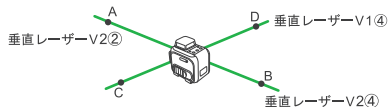
- 垂直レーザーV1④をA点に正確に合わせます。
この時、垂直レーザーV2上でO点より2.5m離れた点にマークしC点・D点とします。



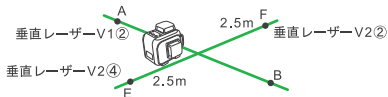
- 垂直レーザーV1④がC点、垂直レーザーV2②がB点に向くように本体を移動させます。
地墨クロスラインを水糸上のO点に合わせ、垂直レーザーV1④をC点に正確に合わせます。
この時垂直レーザーV2②とB点とのズレを見ます。
B点とのズレが2mm以内であれば正常です。



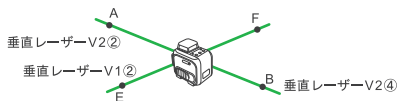
- さらに垂直レーザーV1④がD点、垂直レーザーV2②がA点に向くように本体を移動させます。
地墨クロスラインを水糸上のO点に合わせ、垂直レーザーV1④をD点に正確に合わせます。
この時、垂直レーザーV2④とB点とのズレを見ます。
B点とのズレが2mm以内であれば正常です。



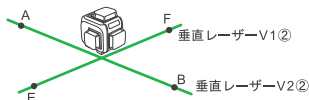
- 次に、垂直レーザーV1②をA点に正確に合わせます。
この時、垂直レーザーV2上でO点より2.5m離れた点を新たにマークしE点・F点とします。



- 垂直レーザーV1②がE点、垂直レーザーV2②がA点に向くように本体を移動させます。
地墨クロスラインを水糸上のO点に合わせ、垂直レーザーV1②をE点に正確に合わせます。
この時、垂直レーザーV2④とB点とのズレを見ます。
B点とのズレが2mm以内であれば正常です。



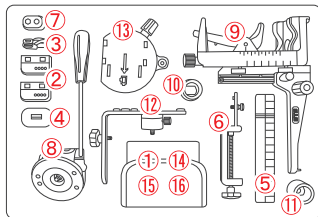
7. さらに垂直レーザー V1②がF点、垂直レーザー V2②がB点に向くように本体を移動させます。
 地墨クロスラインを水系上のO点に合わせ、垂直レーザーV1②をF点に正確に合わせます。
 この時、垂直レーザーV2②とB点とのズレを見ます。
 B点とのズレが2mm以内であれば正常です。



8. ズレが許容範囲を超えている場合は、調整・修理が必要ですので販売店を通じて弊社へご依頼下さい。

9. 付属品

- ①本体
- ②専用充電式Li-ion電池パック LBT-37LAC×2個
- ③USBケーブル USB2MI(Micro USB Type B)
- ④USB-ACアダプター SAC-10W
- ⑤専用受光器SS-30G
- ⑥専用受光器SS-30G用クランプ
- ⑦専用受光器SS-30G用9V乾電池×1個
- ⑧傾斜脚頭 STH70C(1/4inch用)
- ⑨昇降機能付クランプ LMC-55SC
- ⑩昇降機能付クランプ 着脱接続ネジ(1/4inch用)
- ⑪昇降機能付クランプ 着脱接続ネジ(5/8inch用)
- ⑫マグネット付L字金具 LM-2AC
- ⑬専用シフティング台座 SFB-CM1
- ⑭専用収納ケース
- ⑮ALC-44G 取扱説明書
- ⑯SS-30G 取扱説明書



10. 故障かな？と思ったら

・レーザーラインが暗い、または照射しない

- A, 電池は正しくセットされていますか？
＋、－の極性を確認の上、正しくセットして下さい。
- A, 電池が古い、または電池切れではありませんか？
新しい電池と交換または充電して下さい。
また、専用充電式 Li-ion 電池パックは消耗品です。
極端な連続使用時間の減少などがみられる場合は電池の寿命が考えられます。新しい電池の購入をご検討下さい。
- A, 受光器（通常）モードでご使用ですか？
受光器（通常）モードの場合レーザーラインは若干薄くなりますが異常ではありません。

・レーザーラインがきれいに見えない（線がぼやけて見える）

- A, 電池が古い、または電池切れではありませんか？
新しい電池と交換または充電して下さい。
また、専用充電式 Li-ion 電池パックは消耗品です。
極端な連続使用時間の減少などがみられる場合は電池の寿命が考えられます。新しい電池の購入をご検討下さい
- A, レーザー照射口のガラスの窓が結露していませんか？
結露が解消するまでしばらく時間を置いて下さい。
- A, レーザー照射口のガラスの窓に水滴または汚れが付いていませんか？
やわらかい布で軽く水滴や汚れをふき取って下さい。

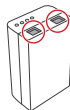
・付属の専用受光器 (SS-30G) が反応しない

- A, 付属の専用受光器 (SS-30G) の取扱説明書を
ご覧ください。
- A, 高輝度モードになっていませんか？
高輝度ボタンを押してモードを切り替えて下さい。

・レーザーラインが太い

- A, グリーンレーザーは超高輝度の為、環境により
太く見えることがあります。異常ではありません。

注意: 本機の専用充電式 Li-ion 電池パックの
接点には触らないようにして下さい。
皮膜やほこり等が付着し接触が不安定
となる場合がございます。
端子の汚れは乾いた柔らかい布で拭いて
下さい。



上記の点検をしてもなお異常がある場合は直ちに使用を中止し、
ご購入先を通じて弊社へ修理をご依頼下さい。